資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
1		妊娠・出産に関する正しい知識の普及・啓発	健康課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・妊娠期から出産・育児に向けた必要な母子保健サービスや正しい知識について情報提供することで、子育てに対する不安軽減や安心できる子育て環境の整備につながるため。	2 継続（現状維持）		54
2		三世代同居・近居の推進	企画課	4 目標をかなり下回る	B それほど高くない	・安心して妊娠・出産できる環境づくり、若い世代の定住促進、高齢者の孤立防止等、現在抱えている課題への対応として効果が期待される取組の一つであるため。	8 他事業に統合	(No.19)「日本版ＣＣＲＣ」の導入に向けた検討	54
3	◆	母子保健事業	健康課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・妊娠・出産・育児と切れ目のない支援を実施することで、各期に応じた支援の提供や乳幼児虐待の防止・早期発見につながるため。	2 継続（現状維持）		54
4		子育て支援事業	こども課	2 おおむね目標どおり	A 高い	保護者の仕事と子育ての両立、子育てしやすい環境づくりを目指した女性の社会参画の推進や子育て支援策の充実を図るため、子育て支援事業は必要である。	2 継続（現状維持）		55
5	◆	保育園・こども園における保育サービスの充実	こども課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	子どもの健やかに成長できる社会の実現と少子化対策の重要な柱として「第二期子ども子育て支援事業計画」に基づき、幼児期の教育・保育の提供及び、保護者の仕事と子育ての両立、子育てしやすい環境づくりに取り組むことが必要。	2 継続（現状維持）		55
6		幼児教育の充実	こども課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・小規模園については、将来の入園対象児童数及び入園希望児童を把握したうえで、園の「こども園化」や統廃合について検討する必要があるため。 ・支援が必要な子どもの受入のため、安房特別支援学校等の関係機関と連携し、一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援が行えるよう、職員の資質向上やマンパワーの確保、施設の充実に努める必要がある。	2 継続（現状維持）		55
7	◆	「元気な広場」運営事業	こども課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	子育てしやすい環境づくりの推進や子育て支援策の充実を図るため、元気な広場、ファミリー・サポート・センター事業等地域子育て支援の強化が必要である。	2 継続（現状維持）		55

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
8		学童クラブ運営事業	こども課 建築施設課	2 おおむね目標どおり	A 高い	保護者の仕事と子育ての両立、子育てしやすい環境づくりを目指した女性の社会参画の推進や子育て支援策の充実を図るため、放課後に児童が安心して生活できる居場所の確保と、次代を担う児童の健全な育成の支援が必要となる。そのためには公設学童クラブのスムーズな運営は不可欠である。	2 継続（現状維持）		55
9	◆	子ども医療費給付事業	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健向上のため事業の継続は必要である。	2 継続（現状維持）		55
10		ひとり親家庭支援事業	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・ひとり親家庭等の子育てに対する不安や経済的負担を軽減し、自立を目指すため必要な事業である。	2 継続（現状維持）		55
11		児童虐待防止ネットワーク事業	こども課	2 おおむね目標どおり	A 高い	児童虐待に関する相談対応は年々増加傾向である。今後も虐待を未然に防ぐため、関係機関のネットワーク構築は不可欠である。	2 継続（現状維持）		55
12	◆	保育園・幼稚園・こども園の整備充実	こども課 建築施設課	2 おおむね目標どおり	A 高い	将来予測の幼児数による保育・教育環境の適切な規模と配置を検討は、既存施設の安全対策と並行して進める必要がある。 施設の適正規模の検討内容に基づき，施設整備計画及び維持管理の適正化を進める。	2 継続（現状維持）		56
13	◆	保育園・幼稚園・こども園における安全対策の充実	こども課 建築施設課	2 おおむね目標どおり	A 高い	大規模修繕が必要な施設及び津波危険区域内の施設への対応は、子どもの保育・教育環境の安全対策として優先的に取り組む必要がある。 園児の安全・安心の環境づくりのため、施設の安全対策に継続的に取り組んでいく。	2 継続（現状維持）		56
14	◆	「地域包括ケアシステム」の構築	高齢者福祉課（健康福祉部）	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・介護保険法により地域包括ケアシステムの進化・推進により地域共生社会の実現を図る。また「夢中八策」の“まるごと支援”のための枠を超えた地域包括ケアシステムの構築を図る。	1 継続（拡充）		58
15		地域で高齢者を支える体制づくり事業	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・国の地域支援事業実施要綱に基づく事業であり、超高齢社会を向かえる中、在宅福祉の充実をはじめ、地域で高齢者を支える必要が生じてきているため。	1 継続（拡充）		58

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
16	◆	地域で高齢者を支える体制づくり事業（地域包括支援センター事業）	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・介護保険法第115条の45等の規定により、地域包括ケアを実施するために地域包括支援センターは必要不可欠であり、引き続き高齢者の介護予防、在宅福祉を推進するため。	1 継続（拡充）		58
17		社会参画・生きがい活動の促進事業	高齢者福祉課	3 目標をやや下回る	A 高い	・老人クラブのクラブ数、会員数共に減少に歯止めがかからない。会員の入会が急務であるため。	1 継続（拡充）		58
18		高齢者見守り事業	高齢者福祉課	3 目標をやや下回る	A 高い	・徘徊探知機利用助成制度に加え、見守りシール事業も新たに行うが、見守りネットワークの協力団体の「さりげない見守り」効果は大きいため。	2 継続（現状維持）		58
19		「日本版ＣＣＲＣ」の導入に向けた検討	企画課	3 目標をやや下回る	A 高い	・現段階では、具体的な取組を推進する環境が整っておらず、他の事業と比べて優先度が高いとは言えない。	2 継続（現状維持）		58
20		館山市高齢者保健福祉計画の推進	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・団塊の世代が既に高齢期を迎え、要介護認定者の増加が見込まれるなか、介護人材の確保が大きな課題となっており、高齢者施策は地域の重要な問題である。ただし、計画策定は法定事業であり、関連する施策の方がより優先度は高い。	2 継続（現状維持）		59
21		高齢者の権利擁護事業	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市及び地域包括支援センターの職員が係わらなければならない高齢者は依然として増加している。ゆえに高齢者虐待、施設虐待は恒常的に発生し、後見人等が必要な高齢者も増加しているため。	1 継続（拡充）		59
22		安定した介護保険制度の運営	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・要介護認定者数の増加に伴い、給付費も増加し続けており、介護保険制度の安定的な運営を図る上では、総合事業の今後の展開等を含めた将来的な検討が必要である。	2 継続（現状維持）		59
23		介護保険特別会計への繰出事務	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・要介護認定者数の増加に伴い、介護保険給付費は増加の一途である。 長期的な展望による計画的な実施が必要不可欠である。	8 他事業に統合	（No.22）安定した介護保険制度の運営	59
24		介護相談員派遣等事業	高齢者福祉課	3 目標をやや下回る	A 高い	・介護保険施設の状況把握や問題の未然防止のために重要な役割を担うようになってきている。 ・近年新設された施設の状況把握のためにも、増員・活動の拡充が必要である。	1 継続（拡充）		59

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
25		老人ホーム入所措置事業	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・老人福祉法第11条に基づく措置であり、在宅において日常生活を営むのに支障があり、養護、介護の行き届かない高齢者に安定した生活の場を提供するため本事業は必要。	2 継続（現状維持）		59
26		在宅福祉サービス事業	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・住み慣れたで地域いつまでも在宅生活をする上で、必ず必要な事業であるため。	2 継続（現状維持）		59
27		館山市障害者計画の推進	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・障害者施策の基本方向を総合的・体系的に定めるとともに、自立支援給付や地域生活支援事業等の事業量や確保策を定め、障害者の自立・社会参加に向けた施策の推進を行う必要がある。	2 継続（現状維持）		61
28		障害者支援に関する事業	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・障害福祉サービスを利用し、住み慣れた地域での自立した生活・社会参画を促すとともに、心身障害者（児）医療費の制度等で経済的負担を軽減することで、安定した生活となる。	2 継続（現状維持）		61
29		障害児支援に関する事業	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・障害児及び養育する保護者への経済的・精神的負担を支援するとともに、市で運営する簡易マザーズホームにおいても、適切な指導や相談を必要とする人がいる。	2 継続（現状維持）		61
30		地域生活のための支援事業	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・住み慣れた地域での自立した生活・社会参画へ向け必要な事業である。	2 継続（現状維持）		61
31		生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・生活困窮者が社会との関りを持ちながら、自立した生活を送るために必要な事業である。	2 継続（現状維持）		62
32		生活保護事業	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・生活保護法は憲法25条に定める、文化的で最低限度の生活を保障するものであるため。	2 継続（現状維持）		62
33		地域福祉に関する事業	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・子どもや高齢者、障害者をはじめとするすべての市民が安心して暮らしていくには、社会福祉協議会や民間福祉団体と共に地域福祉の推進していく必要があるため。	2 継続（現状維持）		63

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
34		館山市地域福祉計画の策定	社会福祉課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・子どもや高齢者、障害者をはじめとするすべての市民が安心して暮らしていくには、各計画の調和を図り、包括的な支援を実施する必要があるため。	2 継続（現状維持）		63
35	◆	救急医療体制確保事業	健康課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・救急医療体制の維持・確保は安全・安心な市民生活の基盤を成すものであるため。	2 継続（現状維持）		65
36		看護師等修学資金貸付制度	健康課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・本制度開始（H23）から延べ71名（R2.5月末時点）が安房地域で看護師として就労実績があり、市民生活に欠くことのできない地域の医療福祉体制の充実には、引き続き従事者確保が必要なため。	2 継続（現状維持）		65
37		かかりつけ医の普及・定着	健康課	3 目標をやや下回る	A 高い	・個々の健康状態や疾病状況により、受診行動が異なるため。	2 継続（現状維持）		65
38		国民健康保険運営事業	市民課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・国民健康保険被保険者の疾病、負傷、出産、死亡に対する必要な給付を行うため。	2 継続（現状維持）		65
39		国民健康保険特別会計への繰出事務	市民課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・一般会計から必要な繰出しを行うことで、国民健康保険の財政運営の安定化を図るため。	8 他事業に統合	（No.38）国民健康保険運営事業	65
40		後期高齢者医療運営事業	市民課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・高齢者の医療費は，年々，増加傾向にあり，医療費を抑制する必要があるため。	2 継続（現状維持）		65
41		後期高齢者医療特別会計への繰出事務	市民課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・一般会計から必要な繰出しを行うことで、後期高齢者医療の財政運営の安定化を図るため。	8 他事業に統合	（No.40）後期高齢者医療運営事業	65
42		短期人間ドック助成事業	市民課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・疾病の予防や早期発見、早期治療を促進し、長期的に医療費の抑制を図るため。	2 継続（現状維持）		65
43	◆	コミュニティ医療推進事業	健康課	3 目標をやや下回る	A 高い	・市民が住み慣れた地域で、いつまでも健康でいきいきと過ごすことが出来るよう、市民の健康寿命の延伸を図るため。	2 継続（現状維持）		67

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
44		健康増進事業	健康課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図ることは、市民の健康づくりの推進に不可欠であるため。	2 継続（現状維持）		67
45		地域ぐるみ健康づくり支援事業	健康課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・健康について、地域ぐるみの活動により、市民が自らの健康に対する意識の向上を図ることが、健康寿命の延伸につながるため。	2 継続（現状維持）		67
46		生活習慣病対策	健康課	3 目標をやや下回る	A 高い	・各種がん検診等は健康増進法・特定健康診査等は高齢者の医療の確保に関する法律に位置付けられているとともに市民の健康づくりに重要である。	2 継続（現状維持）		67
47		予防接種事業	健康課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・予防接種法に定められており、感染症予防からも重要である。	2 継続（現状維持）		67
48		感染症予防対策	健康課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・新型コロナウイルス感染症に対応中のため。	2 継続（現状維持）		67
49	◆	「生きる力」を育成する教育の推進	教育総務課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・本事業は学校教育の中心に位置付けられるものであり、全小中学校において推進すべきものであるため。	2 継続（現状維持）		72
50		福祉・環境・キャリア教育の推進	教育総務課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・変化の激しい現代社会の中で、たくましく生きる力を持った児童生徒の育成を推進する事業であるため。	2 継続（現状維持）		72
51		国際理解教育の推進	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・国際化が進む現代社会において、児童生徒が外国語の背景にある各国の文化等に対する理解を深める必要があるため。	2 継続（現状維持）		72
52		情報（モラル）教育の推進	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・高度化する情報社会の中で、健全かつ有効に情報を活用していくための正しい知識と技術の習得、適切な判断力、活用力の育成が必要であるため。	2 継続（現状維持）		72
53		学校における食育の推進	学校給食センター	3 目標をやや下回る	A 高い	・食に関する指導及び栄養摂取の必要性に加え、学校給食における地産地消の推進を図る。	1 継続（拡充）		72

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
54		小・中学校体育振興の推進	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・日常生活において体を動かす機会が減少している中、児童生徒の運動能力の向上を推進するため。	2 継続（現状維持）		72
55		生活習慣病予防検診事業	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・近年増加傾向にある生活習慣病を小児期から予防するためには、継続して事業を実施する必要がある。	2 継続（現状維持）		72
56		特別支援教育体制の推進	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・特別な支援が必要な児童生徒に対する取組は、児童生徒の将来的な自立に向け必要性が高いため。	2 継続（現状維持）		72
57		教育相談体制の充実	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・児童生徒、保護者が抱える悩みなどの様々な諸問題に対応するため、関係機関と連携した相談体制の整備拡充が必要である。	2 継続（現状維持）		72
58		安全対策の充実	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・児童生徒の安全を確保する必要があるため。	2 継続（現状維持）		72
59		教職員研修の充実	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・教育現場に対するニーズは多様化しており、様々な問題に対応できる教職員の資質や力量の向上が求められているため。	2 継続（現状維持）		72
60		特色ある学校づくり	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・地域資源、地域人材を活用した特色ある学習の実施を通じて、児童生徒の地域への誇りと愛着心を高める必要があるため。	2 継続（現状維持）		72
61		芸術・文化による豊かな心の育成	教育総務課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・児童生徒の情操の涵養を図るため、多様な芸術や文化に触れる機会を創出する必要がある。	2 継続（現状維持）		72
62		就学費援助事業	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・学校教育法第19条により、経済的に就学が困難な者に対して市町村が援助を行うよう規定されている。 ・経済的事情から、今後も援助を必要とする世帯は一定数以上あると予想される。	2 継続（現状維持）		73
63		ふるさと創生奨学資金貸付事業	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・経済的理由により就学が困難な者に対し、就学の機会を創生する必要があり、今後とも制度を継続していく必要があるため。	2 継続（現状維持）		73

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
64	◆	遠距離通学支援事業（スクールバス運行事業・通学費補助事業）	教育総務課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・教育環境上、市民の評価の重要な事業であり、学校の運営上、必要性が高い。	2 継続（現状維持）		73
65	◆	学校施設の整備充実	建築施設課 教育総務課	3 目標をやや下回る	S 最優先	児童・生徒の安全確保の為、学校施設の耐震性確保は、喫緊に取り組むべき内容である。	2 継続（現状維持）		73
66	◆	学校給食センターの整備・運営	学校給食センター	3 目標をやや下回る	A 高い	・台風被害の影響により現施設での調理ができない状況にあり、更には新センター建設の工程においても台風被害及び新型コロナウィルスの影響を受けている中、早期稼働を目指し進める必要がある。	2 継続（現状維持）		73
67		学校用教材備品の整備	教育総務課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・市民にとって、教育現場の整備に対する要望度は高く、優先度をBとする。	2 継続（現状維持）		73
68		少子化に対応した教育環境の向上	教育総務課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・児童生徒数の減少による学校の小規模化に対応するため、引き続き、将来の学校の在り方について検討を進める必要があるため。	1 継続（拡充）		73
69		学校区コミュニティの形成	教育総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・多様化する学校へのニーズや教職員の働き方改革の推進を図るため、地域、家庭と連携した取組が必要であるため。	2 継続（現状維持）		73
70		情報教育環境の整備	教育総務課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・１人１台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する「ＧＩＧＡスクール構想の実現」により、教育ＩＣＴ環境を実現するよう文部科学省より示されているように、学校におけるＩＣＴ環境の充実は今後必須となるため。	1 継続（拡充）		73
71		青少年健全育成体制の充実	生涯学習課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・自主的な活動を行う各種団体の活動について継続して支援する。	2 継続（現状維持）		75
72		放課後子供教室の推進	生涯学習課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・学校・家庭・地域の連携は重要であり、異学年や地域との交流を通して豊かな人間性を育む取り組みが必要。	1 継続（拡充）		75
73		ふるさと体験活動の推進	中央公民館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・体験活動を通じて、郷土に愛着を持ってもらうことや、自ら考え行動する能力を身につけることは重要である。	2 継続（現状維持）		75

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
74		生涯学習講座・教室の開催	中央公民館 図書館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市民一人ひとりが生きがいを持ち、健康で充実した人生を過ごせるよう、継続的に学習機会を提供する必要があるため。 ・図書館業務の基本となるものであり、恒常的・継続的に行っていく必要があるため。	2 継続（現状維持）		77
75		家庭教育事業の推進	中央公民館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・次代を担う健全な青少年を育成するためには家庭教育関連の事業は重要である。	2 継続（現状維持）		77
76		児童サービスの充実	図書館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・図書館業務の基本となるものであり、恒常的・継続的に行っていく必要があるため。	2 継続（現状維持）		77
77		図書館機能の充実	図書館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・図書館業務の基本となるものであり、恒常的・継続的に行っていく必要があるため。	2 継続（現状維持）		77
78		サークル活動の支援	中央公民館 博物館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市民の生きがいづくりや地域のコミュニティー形成のためには、サークル活動の活性化は重要である。 ・市民の歴史への興味関心、学習意欲にこたえる。	1 継続（拡充） 2 継続（現状維持）		77
79		生涯学習ボランティア制度の充実	生涯学習課 博物館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・多様化する学習ニーズや学校支援に対応するため、学校支援ボランティア、出前講座を実施し、市民の知識・経験を活用する仕組みづくりが必要。 ・ミュージアムサポーターの活動により、職員のみではカバーしきれない博物館事業の充実を図ることができる。	2 継続（現状維持）		77

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
80		郷土に関する展覧会・講座等の充実	博物館 中央公民館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市民の歴史への興味関心,学習意欲にこたえる。 ・地域のことを学び、再認識してもらうことで、地域への愛着や帰属意識を高め、ふるさとづくりに寄与することができる。	2 継続（現状維持）		79
81		郷土資料の収集・保存と提供	博物館 図書館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・博物館機能の要である資料の整備を図り、展覧会を中心とする博物館事業の拡充を促進する。 ・図書館業務の基本となるものであり、恒常的・継続的に行っていく必要があるため。	1 継続（拡充） 2 継続（現状維持）		79
82		博物館機能の充実	博物館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・利用者に安全で快適な利用環境を提供する。 ・博物館資料を安全に後世に継承する。	2 継続（現状維持）		79
83		文化財の保存・活用	生涯学習課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市民の歴史・文化への意識の掘り起こしや、歴史・文化の継承のために、文化財の保存・整備を行うことは重要である。	2 継続（現状維持）		79
84		観光スポットとしての歴史文化遺産の活用	生涯学習課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・歴史遺産である戦争遺跡の活用により、特色のあるまちづくりを積極的に情報発信する必要がある。	2 継続（現状維持）		79
85		民俗芸能伝承者の育成	生涯学習課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・少子高齢化の進行から伝承者が減少し、一度中断したものは復活が難しいが、映像記録等の作成や既存映像のデジタル化等による資料の整備が必要である。	2 継続（現状維持）		79
86		国史跡「里見氏城跡　稲村城跡」の保存・整備	生涯学習課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・国史跡「里見氏城跡　稲村城跡」は歴史を活かしたまちづくりの上で館山城跡と共に中核となる歴史遺産であり、保存・整備およびその活用は、長期に渡る事業であるが、一歩づつ確実に推進しなければならない事業である。	2 継続（現状維持）		79

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
87		ふるさと情報の発信強化	博物館	2 おおむね目標どおり	A 高い	・歴史・文化などの地域情報を発信し、市民一人ひとりが、地域の魅力を再認識し、ふるさとに対する誇りや愛着心を育成する。 ・次代の市民に地域の歴史、文化の継承を図り、全国に向けて館山市をアピールする。	1 継続（拡充）		79
88		芸術文化活動の充実	生涯学習課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・台風の影響のある中でも「文化祭」等を通じて、芸術文化活動の発表の場を提供したが、文化芸術活動は、市民生活が確保された上での活動であるため。	2 継続（現状維持）		80
89		全国大学フラメンコフェスティバルの開催	生涯学習課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・南欧風文化の定着や地域のイメージアップを図り、地域の活力を高めようとする事業ではあるが、市民生活への影響は少ない。	2 継続（現状維持）		80
90		生涯スポーツの機会提供	スポーツ課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市民へのスポーツの機会の提供により健康体力保持増進が図られることから、医療費の抑制等による財政健全化や地域経済、コミュニティの活性化など多様な効果が期待できるため。	2 継続（現状維持）		82
91		社会体育団体の育成支援	スポーツ課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・スポーツ協会においては、市の各種スポーツ団体を総括する組織として、市民の競技スポーツ、生涯スポーツの振興、健康増進等を、スポーツ少年団においては、スポーツを通じた青少年の心身の健全育成等を担っており、その役割は多大であるため。	2 継続（現状維持）		82
92		社会体育施設の整備充実	スポーツ課	4 目標をかなり下回る	A 高い	・市民のスポーツ活動の場として利用者の安全確保と利便性の向上、また、各種スポーツイベントやスポーツキャンプの誘致などの受け皿となる各種体育施設の整備は不可欠であるため。	1 継続（拡充）		82
93		学校体育施設開放	スポーツ課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・スポーツ愛好団体の定期的な活動の場として、利用状況もほぼ飽和状態となっており必要不可欠な事業。	2 継続（現状維持）		82

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
94	◆	オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を見据えたまちづくり	スポーツ課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・東京オリパラを契機として、事前キャンプ地としての館山の知名度の向上につなげる。 ・スポーツ目的で訪れる交流と観光施策との融合により交流人口の増加と経済活性化につなげていく。 ・市民にはスポーツ健康都市宣言を契機にスポーツへの興味・関心を高め、継続した体力づくりや健康増進・競技力の向上を図っていく必要があるため。	2 継続（現状維持）		82
95	◆	館山若潮マラソン大会の魅力向上	スポーツ課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市民の健康体力保持増進及び市民以外の宿泊等による経済波及効果や市のＰＲ等の観光振興への影響は、計り知れないものとになっているため。	2 継続（現状維持）		82
96		スポーツイベントの開催	スポーツ課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・多くの市外からの参加者を集めることで、観光振興や市のＰＲ、市内での宿泊等に繋がっており、経済波及効果は多大であるため。	2 継続（現状維持）		82
97		国際交流の推進	企画課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・訪日外国人や外国人労働者が増加する中で、多様性を認め、暮らせる環境を整えるためには、多文化共生の推進が必要とされる。	2 継続（現状維持）		84
98		外国語表記による情報発信	企画課	3 目標をやや下回る	A 高い	・訪日外国人や外国人労働者が増加していく中で、市内において不自由なく過ごすことができるよう支援が必要である。	1 継続（拡充）		84
99		地域間交流の推進	企画課	3 目標をやや下回る	B それほど高くない	・地域活性化のために地域間交流は必要だが、実際の効果測定が困難であるため。	2 継続（現状維持）		84
100		「館山湾振興ビジョン」の推進	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・館山湾を活用した「海辺のまちづくり」を推進し、館山の観光振興を高めるうえでの重要施策。	2 継続（現状維持）		89
101		海路の充実	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・館山湾を活用した「海辺のまちづくり」を推進し、館山の観光振興を高めるうえでの重要施策。	2 継続（現状維持）		89
102		海辺のまちづくり推進事業	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・海辺の賑わいを創出することで交流人口の拡大や地域経済の活性化が図れる。	2 継続（現状維持）		89

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
103	◆	海・浜空間利用者のマナー向上	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・館山市の重要な観光資源の一つである海浜空間を利用者が安全・安心に楽しめる場とするため。	2 継続（現状維持）		89
104	◆	海水浴場の開設	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・海水浴場は夏の重要な観光資源であり、その安全対策も必要不可欠である。	2 継続（現状維持）		89
105		海岸利活用事業	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・海岸を利活用し、観光客や交流人口の増加に大きく寄与する取り組みであるため。	2 継続（現状維持）		89
106		特定地域振興重要港湾館山港の整備・利用の促進	観光みなと課	3 目標をやや下回る	A 高い	・館山港は観光・レクリエーション機能の強化を図る目的で地域の活性化が期待できる港湾として「特定地域振興重要港湾」に選定されている。	2 継続（現状維持）		89
107		新観光立市たてやま行動計画の策定	観光みなと課	4 目標をかなり下回る	C 低い	・個別事業や指標が示されている本基本計画及び総合戦略の中で対応しているため	6 廃止		90
108		観光産業活性化支援事業	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・観光産業にかかわる事業者は多く、観光振興は地域経済の活性化に大きく寄与する。さらに、入湯税の税収増に繋がる。	2 継続（現状維持）		90
109		観光広域連携	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・南房総地域を訪れる観光客は市町は関係ないため、広域連携による観光プロモーションは南房総地域及び千葉県の魅力を高め、観光客を誘致する上で非常に効果の高い方法である。	2 継続（現状維持）		90
110		外国人観光客受け入れ態勢等の整備	観光みなと課	1 目標を上回る	A 高い	・人口減少により国内観光客が減少していく中、インバウンドは地方創生に欠かすことのできない有効なコンテンツであり、今後の経済の活性化に大きく寄与するため。	2 継続（現状維持）		90
111		体験型ツーリズムの促進	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・観光消費は世界的にもモノ消費からコト消費へとシフトしており、国内だけでなく、インバウンドにおいても「体験」が重視されているため。	2 継続（現状維持）		90
112		グリーン・ブルーツーリズムの推進	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	生産者の農業所得の向上や、地域産業の活性化を図るため、体験農業をはじめとした多様な農業経営を促進する必要があるため。	2 継続（現状維持）		90

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
113		観光施設管理事業	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・施設の適切な管理により、観光客の満足度を高め、滞在時間の延長やリピーターの増加に繋げるため。	2 継続（現状維持）		90
114		観光物産ブランド化の推進	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・食は旅行の中で非常に大切な楽しみの一つであり、館山炙り海鮮丼をはじめご当地グルメなどのブランド化は、館山市の知名度向上及び観光客の入込増に高い効果があるため。	2 継続（現状維持）		91
115		観光資源の組み合わせによる館山ブランドの向上	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・館山の観光資源を組合せてPRすることで、観光地としての魅力が向上し、観光客の増加、リピーター確保に繋がるため。	8 他事業に統合	(No.118)観光情報の発信・ＰＲ	91
116		「館山ふるさと大使」・「館山ふるさと特使」制度による館山市のＰＲ及び域内活動の活性化	企画課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・大使・特使と連絡調整を行い、地道に啓発を進めていく事業である。	2 継続（現状維持）		91
117		観光イベント事業	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・館山の一大イベントとして定着しており、イベント開催により、知名度の向上及び観光客入込増による地域経済の活性化に寄与する。	2 継続（現状維持）		91
118		観光情報の発信・ＰＲ	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・館山の認知度知名度向上及び環境客誘致には、観光情報の発信・ＰＲは必要不可欠である。	2 継続（現状維持）		91
119		マスコットキャラクター活用によるプロモーション	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・ご当地キャラを取り巻く環境が変化し、ブームが沈静しているため。	8 他事業に統合	(No.118)観光情報の発信・ＰＲ	91
120		館山の魅力発信事業	企画課 情報課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	（企画課） ・魅力発信は、市の知名度向上や移住者・関係人口の増加に繋がることから、常時効果的に実施していく必要があるため。 （情報課） ・ＳＮＳによる情報発信については経費がほとんどかからずに情報拡散ができ、また、多様な市政情報発信手段として、より活用していくべきである。	2 継続（現状維持）		91
121		農産物のブランド化推進等による農業経営安定化支援事業	農水産課	3 目標をやや下回る	B それほど高くない	ブランド化より農業者の所得モデルを構築できる作物を作ることが、担い手確保・育成につながる。	8 他事業に統合	(No.155)「食のまちづくり」の推進による地域産業の活性化	94

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
122		農水産物の６次産業化の推進	農水産課	3 目標をやや下回る	S 最優先	生産物を加工し、付加価値をつけて販売することにより、農漁業者の所得の安定と向上が図られるため。	2 継続（現状維持）		94
123		地産地消の推進	農水産課（食のまちづくり）	3 目標をやや下回る	A 高い	高齢化や遊休農地の拡大により農業生産力の著しい低下が懸念されるなか、地産地消の更なる推進により、農水産物の域内消費の促進、生産者の所得向上など、1次産業をはじめとした地域産業の活性化を図る必要があるため。	2 継続（現状維持）		94
124		船形漁港周辺の活性化	農水産課	3 目標をやや下回る	A 高い	船形バイパスの整備を見据え、船形漁港周辺の活性化を推進することにより、水産物の取引の拡大など漁業者の所得の向上と地域の活性化が見込まれるため。	2 継続（現状維持）		94
125		新たな農業の担い手の育成・確保	農水産課	3 目標をやや下回る	A 高い	若手の農業離れが著しいなか、今後の担い手の確保が重要課題であるため。	2 継続（現状維持）		95
126		農業の担い手育成・確保と組織的な営農スタイルへの後押し	農水産課	3 目標をやや下回る	S 最優先	高齢化や担い手の減少に伴い、効率的な農業生産性を確保するため、農業経営体の育成確保に取り組む必要があるため。	2 継続（現状維持）		95
127		地域農業活動支援事業	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	高齢化や後継者不足により、維持管理に対する担い手の負担が増大していることから、その負担の軽減を図る必要があるため。	2 継続（現状維持）		95
128		水産振興支援事業	農水産課	3 目標をやや下回る	A 高い	水産業の振興と漁業経営の安定に繋げるために必要である。	2 継続（現状維持）		95
129		環境と調和した農業の推進	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	中国の廃プラ受入中止により国内での処理費用が高騰し、農家負担が非常に増してくる。 このような中で、現在のスキームを維持できるのか、廃プラ処理の重要性が増している。	2 継続（現状維持）		95
130		畜産振興支援事業	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	高齢化。後継者不足により個人の畜産農家は減少の一途であり、１０年後には法人経営もしくは規模の大きい個人農家の数件のみとなることが予想される。	2 継続（現状維持）		95

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
131	◆	有害鳥獣対策事業	農水産課	1 目標を上回る	S 最優先	農業被害に留まらず生活被害にまで及んできている。 ますます地域ぐるみの活動の重要性が増している。	2 継続（現状維持）		95
132		農業生産基盤の整備	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	営農活動を行う上で必要な農道等の農業用施設の機能維持を行うことで、農業者の営農活動への側面支援が図れるため。	2 継続（現状維持）		95
133	◆	農地の保全と有効活用	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	高齢化や担い手の減少により耕作放棄地の増加傾向にあるため、農村環境の維持保全・農業生産基盤を確保していくうえで事業推進が必要であるため。	2 継続（現状維持）		95
134		農業経営安定対策の推進	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	米の需給調整は国の施策であるため、国の動きを見ながら引き続き実施する必要があるため。	2 継続（現状維持）		95
135		中山間地域の活力維持	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	農業生産の維持を図るための国の施策であり、令和2年度から５年間の第５期対策として制度が継続となるため。	2 継続（現状維持）		95
136		漁業経営支援事業	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	海産物を供給するために担い手となる漁業者を継続的に一定数確保する必要がある。	2 継続（現状維持）		96
137		栽培漁業支援事業	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	事業推進により水産資源の適切な管理を行い、資源の持続的な利用と拡大を推進し、漁業者の所得の安定と向上を図る必要があるため。	2 継続（現状維持）		96
138		漁港利活用事業	農水産課	3 目標をやや下回る	A 高い	水産物の安定供給のためには，漁港機能の維持は不可欠である。	2 継続（現状維持）		96
139		地域商業活性化支援事業（中心市街地の活性化）	雇用商工課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・商業都市として発展してきた館山市では商店街の活性化が経済振興の要であり、喫緊の課題として、優先度は高い。	1 継続（拡充）		98
140		中小企業融資事業	雇用商工課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・館山市の経済を担っている中小企業の資金需要に円滑に対応することが、中小企業の育成・発展につながるため優先度は高い。	1 継続（拡充）		98

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
141		伝統的工芸品活性化事業	雇用商工課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・後継者育成事業により、後継者となりうる人が出ているが、まだ一人立ちできる状況ではなく、今後も支援が必要。	2 継続（現状維持）		98
142		商工関係団体支援事業	雇用商工課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・今後も、商工会議所、商店会連合会等と連携して、地域経済の活性化を図っていくため、優先度は高い。	2 継続（現状維持）		98
143		半島振興法による諸制度の利活用の検討	企画課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・半島振興法に基づき、各課及び団体と連携し、粛々と現行の各種支援制度の強化に努める。	2 継続（現状維持）		98
144	◆	新たな雇用の創出	雇用商工課	3 目標をやや下回る	S 最優先	・「業種」・「職種」だけでなく、短時間勤務やフリーランス、パラレルワークなど「働き方」についても、様々な選択肢を持てるようにすることが重要であり、優先度は高い。	2 継続（現状維持）		100
145	◆	企業誘致推進事業	雇用商工課	4 目標をかなり下回る	S 最優先	・さらなる市内企業の支援と若者が着目するＩＴ関係や製造関係などの業種の企業を誘致する必要があることから、優先度は高い。	2 継続（現状維持）		100
146	◆	創業促進支援事業	雇用商工課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・起業支援補助金の申請件数や創業支援セミナーの参加者は、増加傾向にあり、今後も継続的に支援していくことから優先度は高い。	2 継続（現状維持）		100
147	◆	地域のニーズをとらえた就業支援強化	雇用商工課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・希望する仕事に就くことができるよう求職者のニーズとマッチングを図る必要があり、優先度は高い。	2 継続（現状維持）		100
148		介護・福祉人材の確保に向けた支援	高齢者福祉課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・介護制度の維持における最も大きな課題であり、地域力の維持にも影響するものである。	2 継続（現状維持）		100
149	◆	移住・定住促進事業	雇用商工課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・移住・定住の促進は、人口減少を抑制し、まちの活力を維持するために大変重要な取組となっていることから、優先度は高い。	2 継続（現状維持）		102

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
150		サテライトキャンパス誘致事業	企画課	3 目標をやや下回る	A 高い	・市内に大学施設がないため、大学生と触れ合う機会を設けることは、地域の教育力向上に寄与すると考えられる。	2 継続（現状維持）		102
151		市内高校ブランド化支援事業	企画課	3 目標をやや下回る	A 高い	・中学進学時点で市外の学校に進学する生徒が増加している中、地元高校の魅力化は喫緊の課題である。	1 継続（拡充）		102
152		同窓会支援事業	企画課	4 目標をかなり下回る	C 低い	・これまで具体的な事業構築まで至らないまま４年経過したが、市民からの問合せがないことから、実施しなくても特に市民生活に影響はないと考えられ、周知支援を行った場合の効果も不明瞭であるため。	8 他事業に統合	（No.153）出会い・婚活支援事業	102
153		出会い・婚活支援事業	企画課	1 目標を上回る	S 最優先	・人口減少や少子化対策は最重要課題の一つであり、「恋人の聖地」活用は他地域との差別化や関係人口の増加等につながる取組である。	2 継続（現状維持）		102
154		交流拠点「“渚の駅”たてやま」機能強化事業	観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・来館者の増加を目指すことで、結果として市内及び南房総エリアを含む観光振興・経済活性化の推進に寄与できる。	1 継続（拡充）		104
155	◆	「食のまちづくり」の推進による地域産業の活性化	農水産課（食のまちづくり）	3 目標をやや下回る	S 最優先	既に「たてやま食のまちづくり計画」は策定され、HPを通じて公表している。「食のまちづくり」は地域産業の活性化の核となる事業であり、農水産業はもとより商工観光業、医療、福祉、教育など多岐にわたる分野に関連して効果が発揮できる可能性があるため。	2 継続（現状維持）		104
156		住環境向上のための支援	雇用商工課 建築施設課 こども課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・子育て支援や移住・定住促進と連動した若者世代が定住につながるような住環境の施策を展開することは非常に重要であり、優先度は高い。	8 他事業に統合	（No.149）移住・定住促進事業	108
157		建築物の耐震化の促進	建築施設課	4 目標をかなり下回る	A 高い	耐震化の必要性を啓発していくと共に、通常の建替え等による旧耐震住宅の減少を図り、その上で、効果的な支援策を検討したうえで、改めて事業展開をしていく。（既存の助成制度は令和元年度より中止している）	2 継続（現状維持）		108

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
158	◆	空き家対策	建築施設課	3 目標をやや下回る	S 最優先	令和元年度の台風により、周辺住民の生活に影響を及ぼす恐れのある空き家が増加している状況を踏まえ、体制を強化し優先して特定空家等の削減を図る必要がある。	2 継続（現状維持）		108
159		市営住宅の適切な管理	建築施設課	3 目標をやや下回る	B それほど高くない	令和５年度を完了予定としている館山市営住宅長寿命化計画に基づき、今後活用していく市営住宅の改修を行う。（改修が完了していない住宅は那古市営住宅の２棟のみ）	2 継続（現状維持）		108
160		館山駅東口駅前広場の整備	都市計画課	4 目標をかなり下回る	A 高い	・安全な歩行空間の確保と車の適正な誘導を図る必要があり、市民だけでなく、観光客・高速バス事業者等の安全性・利便性の向上につながるため。	1 継続（拡充）		108
161		都市公園の整備	都市計画課	3 目標をやや下回る	B それほど高くない	・市民の憩いの場の創出及び施設利用者の安全にかかわる事業のため。	1 継続（拡充）		110
162		花のまちづくりの推進	都市計画課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・令和元年11月に景観計画が施行され、官民が協力して花のまちづくりを推進していく必要があるため。	1 継続（拡充）		110
163		国道・県道の整備促進	建設課 都市計画課	2 おおむね目標どおり	A 高い	交通渋滞の緩和や歩行者の安全確保、交通事故減少のため、域内幹線道路網の整備が急務である。 ・歩行者の安全確保、交通事故減少のため域内観戦道路網の整備が急務である。	2 継続（現状維持）		113
164	◆	東関東自動車道館山線等の整備促進	都市計画課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・高速道路は人・モノ・情報の交流のみならず、救急医療、災害支援、迂回路機能など、重要な役割があるため。	1 継続（拡充）		113
165		地域高規格道路の整備促進	都市計画課	3 目標をやや下回る	A 高い	東京湾口道路については具体的な動きが見出せない。 館山・鴨川道路については、鴨川方面への幹線道路が国道128号のみであり脆弱なため、防災や観光面での不安を解消する必要がある。	2 継続（現状維持）		113

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
166	◆	都市計画道路船形館山線（船形バイパス）の整備	都市計画課	3 目標をやや下回る	S 最優先	・市街地へのアクセス性及び域内交通の循環性の向上、海辺のまちづくりを推進する地区や湾岸地域へ来訪者を誘導し、地域の活性化及び観光・産業振興を図ると共に災害時の避難路としても必要な道路整備である。	1 継続（拡充）		113
167		都市計画道路青柳大賀線の整備	都市計画課	3 目標をやや下回る	A 高い	・市内幹線道路から西岬地区へのアクセス性の支援や、県道南安房公園線の交通量の分散による交通安全性の向上、さらに、災害発生時の県道南安房公園線や館山港線の代替路としての機能など整備効果は高い。	2 継続（現状維持）		113
168		道路改良事業	建設課	3 目標をやや下回る	A 高い	市道の安全、円滑な通行を確保する必要があるため。	2 継続（現状維持）		113
169		汽船場踏切改良事業	建設課	4 目標をかなり下回る	B それほど高くない	市道の円滑な通行と歩行者、自転車利用者の安全を確保する必要があるため。	8 他事業に統合	（No.171）歩道整備事業	113
170		道路排水整備事業	建設課	3 目標をやや下回る	A 高い	通行の安全確保及び市民生活の良好な居住環境を確保するため。	2 継続（現状維持）		113
171		歩道整備事業	建設課	3 目標をやや下回る	B それほど高くない	市道の円滑な通行と歩行者の安全を確保する必要があるため。	2 継続（現状維持）		113
172		道路維持補修事業	建設課	2 おおむね目標どおり	A 高い	道路構造物及び不明埋設物等の老朽化による道路陥没等の緊急対応費の確保。また、高齢化により年々増加している要望への維持費の確保が必要である。	2 継続（現状維持）		114
173		トンネル長寿命化修繕事業	建設課	2 おおむね目標どおり	A 高い	道路トンネルの老朽化が進んでおり、安全性を確保するため緊急に補修する必要があるため。	2 継続（現状維持）		114
174		道路法面長寿命化修繕事業	建設課	2 おおむね目標どおり	A 高い	道路法面の老朽化が進んでおり、安全性を確保するため緊急に補修する必要があるため。	2 継続（現状維持）		114

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
175		道路舗装補修事業	建設課	3 目標をやや下回る	A 高い	安全な交通機能を確保する必要があるため。	2 継続（現状維持）		114
176		橋梁整備事業	建設課	2 おおむね目標どおり	A 高い	安全な交通機能を確保する必要があるため。	2 継続（現状維持）		114
177		河川整備維持補修事業	建設課	3 目標をやや下回る	A 高い	河川機能を維持し、自然災害等から生命や財産を守るため、点検・維持補修等を適切に行う必要がある。	2 継続（現状維持）		114
178		二級河川の整備促進	建設課	2 おおむね目標どおり	A 高い	流域周辺の市民の生命や財産の保全	2 継続（現状維持）		114
179		雨水排水路等の整備	都市計画課	3 目標をやや下回る	A 高い	・近年の豪雨や台風により溢水被害が深刻化しており、地元からも整備要望が提出されている。市民の生命財産、安全安心にかかわる事業であるため早期整備が必要である。	2 継続（現状維持）		114
180	◆	域内公共交通の確保・維持	企画課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・誰もが利用しやすい公共交通ネットワークを構築することは、市民サービスの向上や持続可能なまちづくりを進める上で重要な要素であるため。	8 他事業に統合	※新規事業に統合	116
181		自転車利用促進事業	企画課 観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・国においても、自転車の活用による交通渋滞の緩和や環境負荷の軽減、健康増進、観光振興等を図ることが重要な課題であり、「自転車活用推進法」の施行により、自転車活用の重要性が増しているため。 ・国においても、自転車の活用による交通渋滞の緩和、環境負荷の軽減、健康増進、観光振興等を図ることが重要な課題であることに鑑み「自転車活用推進法」を施行するなど自転車活用の役割が大きくなっているため。	2 継続（現状維持）		116
182		高速バスネットワークの整備促進	企画課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・高速バスについては、事業者により拡充・サービス向上が図られているため。	8 他事業に統合	※新規事業に統合	116

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート ３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
183		高速道路等通行料金割引制度の拡大	企画課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・アクアライン通行料金の割引については、当面の間継続することとなっているため。	8 他事業に統合	※新規事業に統合	116
184		鉄道の維持と利便性の向上	企画課	3 目標をやや下回る	A 高い	・様々な施策を展開しているものの、JR内房線（君津以南）の利用者数は減少の一途をたどっており、抜本的な対策が求められているため。	8 他事業に統合	※新規事業に統合	116
185		森林・里山保全整備事業	農水産課	2 おおむね目標どおり	A 高い	松くい虫の発生を防止し、森林の保護に努めるとともに、森林の多面的機能を保全するための事業の推進が必要である。	2 継続（現状維持）		120
186		自然環境保全活動団体支援事業	環境課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	継続的に自然環境の保全に対する取組に支援することで、活動の活性化を図る。	2 継続（現状維持）		120
187		自然環境保全対策事業	環境課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	自然環境の保全を図るため、監視・指導を継続して取り組んでいく必要がある。	2 継続（現状維持）		120
188		埋立事業者への指導・監督強化	環境課	2 おおむね目標どおり	A 高い	土壌汚染や災害発生の未然防止に努めるため、残土条例に基づく監視・指導を継続して取り組んでいく必要がある。	2 継続（現状維持）		120
189		公害防止対策事業	環境課	2 おおむね目標どおり	A 高い	公害の発生を防止するため、継続して取り組んでいく必要がある。	2 継続（現状維持）		120
190		水質・土壌・大気監視事業	環境課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	市民の健康を守り、快適な生活環境を保全するため、河川等の水質を調査し、汚染の有無等の監視を継続していく必要がある。	2 継続（現状維持）		120
191		不法投棄防止対策事業	環境課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	地域の環境美化の促進を図り、清潔で美しいまちづくりを推進するには、継続して取り組んでいく必要がある。	2 継続（現状維持）		120

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
192		景観計画の策定	都市計画課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・景観行政団体として、良好な景観の保全・育成を図る必要があるため。	4 完了		120
193	◆	広域ごみ処理施設の整備促進	環境課	2 おおむね目標どおり	C 低い	館山市は、ごみ処理広域化事業から撤退し、市単独でごみ処理を行うこととしたため、館山市清掃センターの長寿命化対策（環境センター）を推進することとなった。	6 廃止		122
194		粗大ごみ処理施設運営事業	環境センター	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・安房広域市町村圏事務組合から施設譲渡の協議の申し入れがされている。施設の維持管理費の増加が見込まれる。	1 継続（拡充）		122
195		最終処分場運営事業	環境センター	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・水処理、焼却灰の管理は、ごみ処理施設が存続する限り継続する必要がある。	2 継続（現状維持）		122
196		清掃センター運営事業	環境センター	2 おおむね目標どおり	A 高い	・循環型社会形成推進交付金事業により、令和３～５年度に、大規模改修工事を予定している。最優先で事業推進する。	1 継続（拡充）		122
197		衛生センター運営事業	環境センター	2 おおむね目標どおり	A 高い	・施設の老朽化が進み、設備の故障や不具合の発生が増加している。修繕や機器更新等が必要である。	1 継続（拡充）		122
198		県内水道の統合・広域化の推進	環境課	2 おおむね目標どおり	A 高い	安全で良質な水の安定供給を確保するため、千葉県及び関係市町村と協力し、統合・広域化を進めていく必要がある。	2 継続（現状維持）		122
199		合併浄化槽普及事業	下水道課	3 目標をやや下回る	B それほど高くない	・引き続き、合併処理浄化槽への転換事業を推進し、生活排水の改善を図る必要があるため。	2 継続（現状維持）		123
200		公共下水道館山処理区第２期整備事業	下水道課	2 おおむね目標どおり	C 低い	・当分の間休止のため。	8 他事業に統合	（No.201）公共下水道への接続率向上	123

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
201		公共下水道への接続率向上	下水道課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・下水道の維持管理の財源において下水道収入が主となることから、下水道接続率を上げて、使用料収入を増加させる必要があるため。	2 継続（現状維持）		123
202		公共下水道終末処理場維持管理事業	下水道課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・ストックマネジメント計画に基づき、継続的に改築・更新を行い、適正な水質管理に努める必要があるため。	2 継続（現状維持）		123
203		下水道事業特別会計への繰出事務	下水道課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・下水道特別会計（令和2年度から下水道事業会計へ移行）の運営維持するため、必要不可欠である。	8 他事業に統合	（No.201）公共下水道への接続率向上	123
204		ごみ減量化・再資源化事業	環境課	3 目標をやや下回る	A 高い	館山市は、ごみ処理広域化事業から撤退し、館山市清掃センターを大規模改修してごみ処理を行うこととしたことも踏まえ、排出者の理解と協力により、ごみの減量化・再資源化に継続して取り組んでいく必要がある。	2 継続（現状維持）		125
205		環境美化推進事業	環境課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	地域の環境美化の促進を図り、清潔で美しいまちづくりを推進するには、市民・事業者などが一体となって取り組む必要がある。	2 継続（現状維持）		125
206		地球温暖化対策事業	環境課	2 おおむね目標どおり	A 高い	地球温暖化対策を推進するため、補助金事業及び啓発活動を継続して取り組んでいく必要がある。	2 継続（現状維持）		125
207		地域防災力強化事業	社会安全課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・防災訓練などを通じて、住民の防災意識の向上や自主防災組織の機能強化を図る必要がある。	2 継続（現状維持）		130
208		災害対応力強化事業	社会安全課 総務課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・備蓄食糧などの整備は継続的に必要なものである。併せて、地域防災計画などの見直しを引き続き行う必要がある。	2 継続（現状維持）		130
				3 目標をやや下回る		・市は、災害対応の主体として重要な役割を担うことから、人やモノ、情報等の資源に制約を受けた場合でも、優先的に実施すべき業務を的確に行うために「業務継続計画」の見直しが重要となる。			

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
209		災害情報伝達手段の整備	社会安全課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・災害発生時の被害を最小限に抑えるために、防災行政無線などの情報伝達手段の整備は必要である。また、難聴地域の対策として、戸別受信機導入の検討を行う必要がある。	2 継続（現状維持）		130
210	◆	津波防災まちづくり事業	社会安全課 建設課 観光みなと課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・津波災害から安全かつ確実に避難できるよう、今後も、津波避難計画を改訂していく必要がある。 ・地域住民の生命や財産の保護	2 継続（現状維持）		130
211		消防団拠点施設の整備	社会安全課	3 目標をやや下回る	A 高い	・令和元年の台風災害において消防団活動の重要性が再認識されたが、老朽化した詰所の多くが被災したことから、消防団の継続的活動を維持するため詰所の建替え優先度は高い。 ・津波浸水想定区域内にある詰所１棟の新築移転は最優先事項であり、移転用地が決まり次第事業化を予定。	2 継続（現状維持）		132
212		消防ポンプ自動車整備事業	社会安全課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・消防車両は火災を始め災害時の活動において最も重要な装備であり、老朽化した消防車両の更新の優先度は高い。 ・20年前の車両などは基本装備や安全装備が乏しく、団員の安全性向上のためにも優先度は高い。	2 継続（現状維持）		132
213		消防水利の整備	社会安全課	3 目標をやや下回る	A 高い	・防火水槽の新設は、消防水利の乏しい地区からの要望により整備していることから、必要性の高い事業である。 ・防火水槽の蓋掛は、転落防止や維持労力の軽減から必要である。	2 継続（現状維持）		132
214		消防団員の確保と待遇改善	社会安全課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・消防団活動の重要性が高まる中、団員数は、女性団員は増えているが、消防団全体としては減少傾向にあり、引き続き、団員の確保施策を実施すべき。	2 継続（現状維持）		132
215		消防団員の育成及び市民の防火意識の高揚	社会安全課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・効率的で効果的な消防団活動を行えるよう引き続き団員の消防防災に関する知識や技術の向上を図る。また、安全対策として安全装備品の配備・更新が必要。 ・一件でも火災を減らすため、市民の防火意識の高揚を図る。	2 継続（現状維持）		132

資料3－2

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点ﾌﾟﾗﾝ該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
216		消防・救急体制の充実	社会安全課	3 目標をやや下回る	A 高い	・近年の気象状況から自然災害は増加・激甚化の傾向にあり、また、高齢化が進むことから、今後更に消防・救急体制の充実が望まれる。	2 継続（現状維持）		132
217		交通安全対策の推進	社会安全課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・交通安全対策を推進するには、交通安全施設等の整備と高齢者の交通事故防止が重要かつ注目されているため。	2 継続（現状維持）		134
218		自転車駐車場維持事業	社会安全課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・駅を利用する通勤者や通学者が多いため、駅近くの駐輪場内の維持管理と環境整備は必要である。	2 継続（現状維持）		134
219		防犯環境整備事業	社会安全課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・防犯の重要性がますます高まる中、市・市民・警察などの関係機関が一体となった防犯活動の展開が必要である。	2 継続（現状維持）		134
220		安全・安心な消費生活の確保	社会安全課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・時代とともに巧妙化、複雑化する詐欺や社会状況に便乗した悪質商法が発生する中、消費生活相談及び広報啓発活動の充実を図る必要がある。	2 継続（現状維持）		135
221		広聴体制の充実	企画課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市民参画、市民協働のまちづくりをさらに推進するため、広く市民の声を聴くことはますます重要となる。	2 継続（現状維持）		140
222		まちづくりモニター制度	企画課	4 目標をかなり下回る	C 低い	・各事業をブラッシュアップさせるために有効な手段であるが、実施せずとも、市民生活に直接影響が出るものではないため。	8 他事業に統合	（No.221）広聴体制の充実	140
223		市民と行政による協働事業の充実	社会安全課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・ＮＰＯ等の活動については、引き続き関係課及び関係機関との情報共有を図る必要がある。 ・市民協働事業補助制度を活用し、事業を推進する。	2 継続（現状維持）		140
224		市民と議会との情報交流の強化	議会事務局	2 おおむね目標どおり	C 低い	・市民と議会との情報交流について，今後は議会内において更なる対応を図る。	4 完了		140

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
225		コミュニティ事業の推進	社会安全課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・地域コミュニティ活動を推進するため、引き続き館山市コミュニティ事業補助制度等を活用し、コミュニティ活動及び活動拠点であるコミュニティ施設の整備事業を推進する必要がる。	2 継続（現状維持）		142
226		町内会活動の促進	社会安全課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・町内会連協への補助金交付を継続し、町内会組織の維持及び運営を支援する必要がある。 ・町内会加入率を維持または増加するため、引き継き、各町内会による未加入者の勧誘を支援する。	2 継続（現状維持）		142
227		地域やＮＰＯ等による地域活性化活動への支援	企画課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・他地域との差別化を図れる地域活性化の取組として効果が期待できる。	2 継続（現状維持）		142
228		多様な主体との連携によるコミュニティの活性化	企画課 社会安全課 雇用商工課 観光みなと課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・海上自衛隊館山航空基地の機能強化や隊員増増強は、館山市のまちづくりにおいて必要不可欠である。	8 他事業に統合	（No.226）地域やＮＰＯ等による地域活性化活動への支援	142
					A 高い	・ハローワークや他の自治体、経済団体等との連携による雇用の場の創出を図ることが必要なため。		（No.142）商工関係団体支援事業　ほか	
						・多様な主体との連携による観光イベントは、観光客誘致による観光関連産業の活性化のみならず市民の郷土愛の醸成を図ることができるため。		（No.108）観光産業活性化支援事業　ほか	
						・市民協働まちづくり支援事業を通じ、市民が市政に興味を持ち、自ら市政に参画する機運の醸成を図ることができるため。		（No.223）市民と行政による協働事業の充実	
229		ふるさと納税（ふるさと寄附金）制度の推進	企画課	1 目標を上回る	S 最優先	・市の創意工夫により収入増を見込むことが出来る、唯一の歳入項目であるため。 ・市が地場産品を提供する事業者、サービス事業者と同じ目標に向かって協力・連携できる事業であるため。	1 継続（拡充）		142

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
230		男女共同参画社会の実現に向けた取組	企画課 総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・少子高齢化、労働人口の減少が進む地方では、特に男女共同参画の理念に基づく社会の実現が必要不可欠である。	1 継続（拡充）		144
				3 目標をやや下回る		・市の事務事業を支えているのは人財（材）であり、人的資源の活用については、優先的に取り組むべきであるため。	8 他事業に統合	（No.231）女性活躍支援事業	
231		女性活躍支援事業	企画課	3 目標をやや下回る	A 高い	・人手不足が懸念される中、働く意欲のある女性が、能力を発揮して働くことができるよう支援することは、地方の活性化において重要である。	1 継続（拡充）		144
232		情報発信の強化・充実	秘書広報課 情報課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・複雑多様化する情報を市民へ適時適切に伝える業務は市民が快適な生活を送るうえで行政の責務である。 ・令和元年度に発生した災害等の際、インターネット媒体（ＨＰ／ＳＮＳ）により、迅速な情報発信を行うことができた。今後も迅速な情報発信を行っていくべきである。	2 継続（現状維持）		146
233		電子自治体推進事業	情報課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・ネットワークの分離や資産管理システムの運用により、業務の安定と効率化を図ることができた。また、機器等の老朽化に対し、計画的な更新が必要となる。	2 継続（現状維持）		146
234		地域情報化推進事業	情報課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・スマホ、タブレット講座については、災害対応により実施見合わせたが、市施設のＷｉ－Ｆｉについては今後も維持管理を行う。	2 継続（現状維持）		146
235		情報セキュリティの強化	情報課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・情報漏えい事故が発生した場合，その損害は甚大であり，高度化するＩＣＴに迅速に対応していく必要がある。	2 継続（現状維持）		146

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課(R2回答課)	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
236		データ利活用の推進	企画課 情報課	4 目標をかなり下回る 2 おおむね目標どおり	A 高い	（企画課） ・各課がＲＥＳＡＳデータを積極的に活用することにより、市の現状について正確な認識を持つことができ、各事業に活かすことができるため。 （情報課） ・オープンデータ化については、民間での利用も増えてくるため、コスト面も考慮し行っていく。	2 継続（現状維持）		146
237	◆	行財政改革の推進	行革財政課	4 目標をかなり下回る	S 最優先	・「将来に渡り持続可能なまち」を図るため、財政の安定と健全化は重要なことであるため。	2 継続（現状維持）		148
238	◆	公共施設等総合管理計画の策定及び実施	行革財政課	3 目標をやや下回る	S 最優先	・財政の安定と健全化のため、将来の人口規模を見据えた長期的な視点による施設の更新計画は必要な事項であるため。	2 継続（現状維持）		148
239	◆	地方公会計の整備及び活用	行革財政課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・財政の安定と健全化のため、中・長期的な財政見通しを把握するため。	8 他事業に統合	（No.237）行財政改革の推進	148
240	◆	市税等の徴収率向上による自主財源の安定確保	納税課	3 目標をやや下回る	S 最優先	・安定的な自主財源の確保のため。	2 継続（現状維持）		148
241		職員の適正配置による市民サービスの向上	総務課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・市の事務事業を支えているのは人財（材）であり，人的資源の活用については，優先的に取り組むべきであるため。	8 他事業に統合	※新規事業に統合	148
242		時代のニーズに対応できる職員の確保・育成	総務課	3 目標をやや下回る	A 高い	・市の事務事業を支えているのは人財（材）であり，人的資源の活用については，優先的に取り組むべきであるため。	8 他事業に統合	※新規事業に統合	148
243		窓口サービスの充実	市民課	2 おおむね目標どおり	A 高い	・総合窓口として、市民が利用しやすい窓口にするため。	2 継続（現状維持）		148

資料３－２

第４次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート　３次評価結果

事業No.	重点プラン該当	計画事業名	担当課（R2回答課）	3次評価達成度	3次評価優先度	【優先度】の理由	3次評価方向性	統合先の計画事業	計画書ページNo.
244		市民相談事業	市民課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・市民の相談内容に応じた最適な関係機関を紹介することで、市民の不安解消が図られている。	2 継続（現状維持）		148
245		納付者ニーズに応じた納付環境の整備	納税課	2 おおむね目標どおり	B それほど高くない	・納付者ニーズに対応した納付環境の拡大を図ることで、納期内納付の促進、徴収コストの削減、安定した税収の確保が期待できるため。	1 継続（拡充）		148
246	◆	保健・医療・福祉に関する総合相談体制の整備	健康課（健康福祉部）	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・住み慣れた地域において、住民間の関係性や信頼関係の中で、いつまでも自分らしく住み続けられる環境を構築するため。	1 継続（拡充）		148
247		シビックコアの検討	企画課	1 目標を上回る	S 最優先	・当市の中心部である旧県立安房南高等学校跡地エリアへの都市機能の集積は、館山市民のみならず、安房地域の住民の利便性向上に大きく寄与するものである。	1 継続（拡充）		151
248		広域連携の充実	企画課	2 おおむね目標どおり	S 最優先	・地方創生、とくに人口減少対策は、最重要課題の一つであり、喫緊に取り組むべき内容である。	1 継続（拡充）		151